

---

# 2010年度第3四半期決算説明資料

2011年2月14日

NKSJホールディングス株式会社

■ NKSJグループ2010年度第3四半期決算のポイント	2
■ NKSJ連結決算概要	3
■ 主要損保2社の単体第3四半期決算概要	4
■ 正味収入保険料	5
■ 正味損害率	6
■ 正味事業費率	7
■ 金融保証保険	8
■ 資産運用	9
■ 運用資産の状況	10
■ 国内生命保険事業	11
■ 海外保険事業	12
■ 純資産の状況	13
■ 2010年度通期業績予想	14
■ 中期事業計画の進捗 ～修正利益～	18

事業	概況	
国内損保事業	<b>損保ジャパン</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保険引受利益は224億円(前年同期比+92億円)。 自動車保険の発生損害が増加したものの、金融保証保険における198億円の利益と自然災害の減少でカバー。</li> <li>資産運用粗利益は249億円(同+1億円)。 政策株式の売却益減少、円高による外貨建資産の利配収入減少などを為替ヘッジ益でカバー。</li> </ul>
	<b>日本興亜損保</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保険引受利益は△1億円(同△32億円)。 自然災害は減少したものの、自動車保険の発生損害の増加が響く。</li> <li>資産運用粗利益は201億円(同△16億円)。 株式売却益が19億円減少。</li> </ul>
国内生保事業	ひまわり生命 & 日本興亜生命	<ul style="list-style-type: none"> <li>収入保障保険、医療保険などの販売好調により、トップラインの増率が拡大。 (2社合算の新契約年換算保険料は前年同期比+14%、保険料等収入は同+9%)</li> <li>2011年10月の合併に向けた作業は順調に進捗。</li> </ul>

(単位:億円)

	2010年度第3四半期
経常収益	20,020
(正味収入保険料)	14,654
(生命保険料)	1,714
経常利益	459
当期純利益	248
<b>1株当たり当期純利益</b>	<b>14.96円</b>

(単位:億円)

	経常利益	当期純利益
損保ジャパン連結	367	216
+		
日本興亜損保連結	169	98
+		
連結調整	△76	△65
=		
<b>NKSJ HD 連結</b>	<b>459</b>	<b>248</b>

## <連結調整>

- ・NKSJホールディングスの設立にあたり、企業結合の会計処理として「パーチェス法」を適用している。左記「連結調整」の主なものは「パーチェス法」適用に伴う修正額。
- ・NKSJホールディングス連結では、日本興亜損保の資産・負債を経営統合時の時価で取得し、これを簿価としている。  
(日本興亜損保連結上の認識簿価とHD連結上の認識簿価が相違)従って、日本興亜損保連結上の売却損益等を修正する必要がある。

# 主要損保2社の単体第3四半期決算概要

(単位: 億円)

	損保ジャパン		
	2009年度 第3四半期	2010年度 第3四半期	増減
正味収入保険料	9,511	9,533	+21(+0.2%)
(除く自賠償)	8,280	8,274	△6(△0.1%)
正味損害率	74.2%	71.2%	△3.0pt
(除く金融保証・自賠償)	62.0%	62.9%	+0.9pt
正味事業費率	34.2%	33.5%	△0.7pt
(除く自賠償)	35.3%	34.6%	△0.7pt
コンバインドレシオ	108.4%	104.7%	△3.7pt
(除く金融保証・自賠償)	97.4%	97.5%	+0.2pt
保険引受利益	131	224	+92
資産運用粗利益	247	249	+1
経常利益	279	397	+117
当期純利益	241	249	+7

	日本興亜損保		
	2009年度 第3四半期	2010年度 第3四半期	増減
	4,806	4,717	△88(△1.8%)
	4,250	4,153	△97(△2.3%)
	68.0%	68.3%	+0.3pt
	63.5%	63.8%	+0.3pt
	35.5%	35.4%	△0.1pt
	36.7%	36.7%	△0.0pt
	103.5%	103.8%	+0.3pt
	100.2%	100.5%	+0.3pt
	31	△1	△32
	217	201	△16
	222	166	△55
	132	98	△34

## 【参考】修正利益

当期純利益	241	249	+7
+) 異常危険準備備金繰入額(税引後)	19	75	+55
+) 価格変動準備金繰入額(税引後)	27	15	△12
-) 有価証券売却損益・評価損(税引後)	2	△22	△24
-) 特殊要因(税引後)	95	-	△95
修正利益	190	361	+171

	132	98	△34
	△4	△3	+0
	12	14	+2
	16	19	+3
	-	-	-
	124	89	△34

※除く金融保証は損保ジャパンのみ

# 正味収入保険料(主要損保2社単体)

自動車保険の減収が全体の減収につながっているが、今後は、料率改定効果により増収基調となることを見込む

(単位:億円)

	損保ジャパン			日本興亜損保		
	金額	増減	増収率	金額	増減	増収率
火災	1,064	△7	△0.7%	667	△52	△7.3%
海上	190	+11	+6.5%	104	+4	+5.0%
傷害	974	+10	+1.1%	389	△5	△1.4%
自動車	4,811	△21	△0.4%	2,372	△37	△1.6%
自賠責	1,258	+27	+2.3%	563	+8	+1.5%
その他	1,233	+1	+0.2%	618	△6	△1.1%
(うち賠償責任)	801	+23	+3.0%	323	+0	+0.2%
合計	9,533	+21	+0.2%	4,717	△88	△1.8%
合計(除く自賠責)	8,274	△6	△0.1%	4,153	△97	△2.3%

- <火災> 長期契約の減少等により元受保険料が減収
- <海上> 物流の増加により積荷が増収
- <傷害> 損保ジャパンは団体医療保険が増収
- <自動車> 損保ジャパン: 2010年4月の料率改定により単価は上昇に転じたが、前年度契約の分割払分の影響が残り減収。  
2011年4月に再び料率改定を実施。  
日本興亜損保: 単価減少が継続。2010年12月の料率改定により今後は単価上昇を見込む。
- <自賠責> 上半期における新車販売台数の増加により増収
- <その他> 損保ジャパンは賠償責任保険が好調に推移

# 正味損害率(リトン・ペイド)(主要損保2社単体)

- ◆自動車保険は、事故率の増加により損害率が上昇
- ◆当年度発生自然災害にかかる支払保険金は、損保ジャパン24億円、日本興亜損保25億円

(単位: 億円)

W/P損害率	損保ジャパン				日本興亜損保			
	正味支払保険金		正味損害率		正味支払保険金		正味損害率	
		増減		増減		増減		増減
火災	415	△47	40.8%	△3.9pt	284	△40	46.3%	△2.6pt
海上	108	+8	60.8%	+0.2pt	42	△18	42.8%	△21.4pt
傷害	515	+10	58.4%	+0.8pt	227	△4	63.6%	△0.6pt
自動車	2,932	△36	70.6%	+1.9pt	1,561	+45	72.2%	+3.2pt
自賠責	1,179	+2	101.2%	△2.8pt	543	+3	101.8%	△0.8pt
その他	937	△321	80.6%	△25.6pt	302	△26	54.2%	△4.2pt
(うち賠償責任)	387	+10	52.4%	+0.1pt	145	△12	50.0%	△4.5pt
合計	6,090	△383	71.2%	△3.0pt	2,962	△41	68.3%	+0.3pt
合計(除く金融保証・自賠責)	4,604	△55	62.9%	+0.9pt	2,419	△45	63.8%	+0.3pt

※除く金融保証は損保ジャパンのみ

# 正味事業費率(主要損保2社単体)

(単位:億円)

## 正味事業費

	損保ジャパン			
	金額		正味事業費率	
		増減		増減
諸手数料及び集金費	1,611	+8	16.9%	+0.0pt
保険引受に係る営業費及び一般管理費	1,583	△67	16.6%	△0.7pt
合計	3,195	△59	33.5%	△0.7pt

	日本興亜損保			
	金額		正味事業費率	
		増減		増減
	792	△24	16.8%	△0.2pt
	877	△10	18.6%	+0.1pt
合計	1,670	△35	35.4%	△0.1pt

(単位:億円)

## 社費

	損保ジャパン			
	金額		対正味収保	
		増減		増減
人件費	1,347	+113	14.1%	+1.2pt
物件費	906	△75	9.5%	△0.8pt
税金等	106	+3	1.1%	+0.0pt
合計	2,360	+41	24.8%	+0.4pt

	日本興亜損保			
	金額		対正味収保	
		増減		増減
	664	+26	14.1%	+0.8pt
	465	△37	9.9%	△0.6pt
	55	△3	1.2%	△0.0pt
合計	1,184	△14	25.1%	+0.2pt

- ◆損保ジャパン : システム開発費用の計上方法変更により、保険引受に係る営業費及び一般管理費は減少。損害調査子会社の吸収合併により、社費全体は増加。
- ◆日本興亜損保: 人材派遣子会社からの派遣社員を本体で直接雇用したため、物件費(人材派遣料)から人件費(給与等)への振り替えが発生。



# 金融保証保険(損保ジャパン単体)

2010年度第3四半期  
累計(4-12月)損益  
(金融保証保険全体)

+198億円 (ABS-CDO保証における過年度支払済み保険金の一部回収や  
支払備金戻入益の発生などによる利益認識)

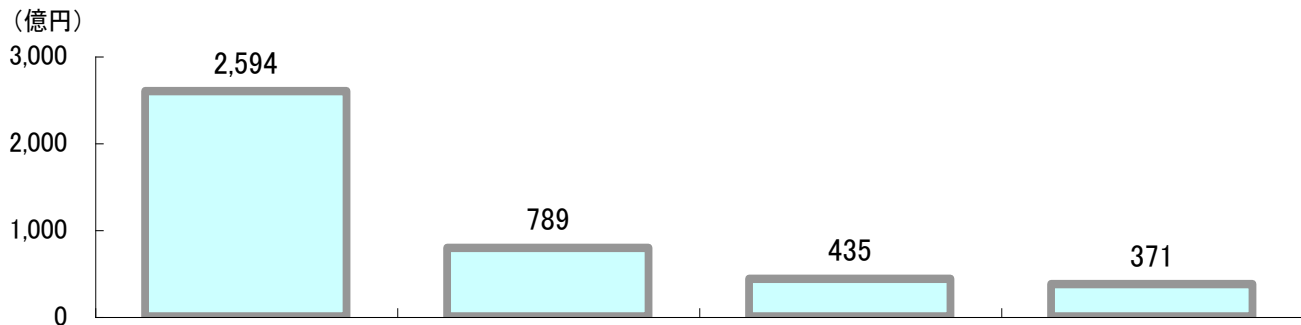
(単位:億円)

金融保証全体(損益)	当中間期 (2010年4-9月)	当第3四半期 (2010年10-12月)	当第3四半期累計期間 (2010年4-12月)	前第3四半期累計期間 (2009年4-12月)
支払保険金(注1)	△ 185	△ 121	△ 306	△ 637
支払備金積増/取崩(注2)	311	193	504	623
損益	126	71	198	△ 13

(注1)合意解約を含む (注2)為替ヘッジ損益を含む

ABS-CDO保証の  
ネットエクスポージャー

支払備金控除後のABS-CDO保証残高は371億円 (2010年3月末比64億円の減少)



(単位:億円)

ABS-CDO保証(残高)	2008年3月末	2009年3月末	2010年3月末	2010年12月末
保証残高	2,894	2,180	1,231	642
支払備金引当済	△ 300	△ 1,390	△ 795	△ 271
支払備金控除後保証残高	2,594	789	435	371

# 資産運用(主要損保2社単体)

(単位: 億円)

	損保ジャパン		
	2009年度 第3四半期	2010年度 第3四半期	増減
利息及び配当金収入	660	627	△33
積立保険料等運用益振替	△316	△293	+23
ネット利配収入	344	334	△9
有価証券売却損益	70	26	△43
国内株式売却損益	95	21	△74
有価証券評価損	△66	△61	+5
国内株式評価損	△63	△28	+35
金融派生商品損益	23	85	+61
その他損益	△123	△136	△12
資産運用粗利益	247	249	+1

	日本興亜損保		
	2009年度 第3四半期	2010年度 第3四半期	増減
	356	337	△19
	△172	△154	+18
	183	182	△1
	53	53	△0
	60	41	△19
	△28	△23	+5
	△27	△19	+8
	31	15	△16
	△22	△26	△4
	217	201	△16

- ◆利息及び配当金収入の減少は、積立勘定残高の減少と円高による外債利息の減少が主因。
- ◆政策株式は損保ジャパンがネットで68億円の買い越し、日本興亜損保はネットで74億円の売り越し。両社とも、売却益は前年度より減少する一方、評価損も減少。
- ◆損保ジャパンの金融派生商品損益は、外貨建資産の為替ヘッジに伴う利益。同じくその他損益は、円高に伴う外貨建資産の解約損や外貨預金等の為替差損。

# 運用資産の状況(主要損保2社単体)

(単位:億円)

		損保ジャパン			日本興亜損保		
		2009年度末	2010年度 第3四半期末	増減	2009年度末	2010年度 第3四半期末	増減
<b>積立勘定</b>	円貨債券・貸付金等	12,642(28.4%)	12,073(28.0%)	△569(△0.4pt)	7,712(32.6%)	7,229(32.2%)	△482(△0.4pt)
<b>一般勘定</b>	円貨債券	5,912(13.3%)	5,896(13.7%)	△16(+0.4pt)	2,287(9.7%)	2,360(10.5%)	+73(+0.8pt)
	外貨債券	2,369(5.3%)	1,950(4.5%)	△418(△0.8pt)	2,333(9.9%)	2,178(9.7%)	△155(△0.2pt)
	(うちヘッジ外債)	466(1.0%)	1,335(3.1%)	+869(+2.1pt)	1,363(5.8%)	1,496(6.7%)	+133(+0.9pt)
	オルタナティブ・外株等	3,798(8.5%)	3,670(8.5%)	△128(+0.0pt)	819(3.5%)	827(3.7%)	+7(+0.2pt)
	貸付金	2,408(5.4%)	2,395(5.6%)	△12(+0.2pt)	668(2.8%)	656(2.9%)	△11(+0.1pt)
	国内株式	11,234(25.2%)	11,190(26.0%)	△43(+0.8pt)	6,452(27.3%)	5,949(26.5%)	△503(△0.8pt)
	子会社株式	2,529(5.7%)	2,867(6.7%)	+337(+1.0pt)	473(2.0%)	479(2.1%)	+6(+0.1pt)
	その他	3,691(8.3%)	3,050(7.1%)	△641(△1.2pt)	2,930(12.4%)	2,792(12.4%)	△138(+0.0pt)
	小計	31,945(71.6%)	31,020(72.0%)	△924(+0.4pt)	15,964(67.4%)	15,244(67.8%)	△719(+0.4pt)
<b>運用資産残高</b>		44,587(100.0%)	43,093(100.0%)	△1,493	23,676(100.0%)	22,473(100.0%)	△1,202
その他有価証券含み益(税引前)		5,963	5,118	△844	2,735	2,292	△442
(うち株式)		5,800	5,129	△670	2,718	2,265	△452

感応度	変動要素	損保ジャパン	日本興亜損保
金利	金利50bpの上昇による資産の増減	△511億円	△329億円
	金利50bpの上昇によるネット実質純資産の増減	+270億円	+57億円
為替	ドル円・ユーロ円10%の下落による外貨建資産の増減	ドル: △412億円、ユーロ: △75億円	ドル: △52億円、ユーロ: △20億円
株価	TOPIX10%の下落による国内株式の増減	△1,185億円	△543億円

収入保障・医療・がん保険など、保障性商品を中心に増収傾向がより顕著に

(単位:億円)

## 損保ジャパンひまわり生命

	2009年度 第3四半期	2010年度 第3四半期	前年同期比
新契約高	16,077	17,056	+6.1%
新契約年換算保険料	177	194	+9.9%
うち第三分野	86	90	+4.9%
保険料等収入	1,690	1,812	+7.2%
経常利益	15	△6	△144.3%
当期純利益	0	△17	△4,784.8%

	2009年度末	2010年度 第3四半期末	前年度末比
保有契約高	123,230	132,230	+7.3%
保有契約年換算保険料	1,961	1,992	+1.6%
うち第三分野	728	771	+5.8%

## 日本興亜生命

	2009年度 第3四半期	2010年度 第3四半期	前年同期比
新契約高	5,062	6,141	+21.3%
新契約年換算保険料	68	83	+23.4%
うち第三分野	18	17	△3.8%
保険料等収入	670	763	+13.9%
経常利益	17	12	△31.7%
当期純利益	5	0	△91.7%

	2009年度末	2010年度 第3四半期末	前年度末比
保有契約高	53,069	55,681	+4.9%
保有契約年換算保険料	697	734	+5.3%
うち第三分野	136	145	+6.7%

新興国を中心にトップラインが増加、今後は、M&A案件が利益貢献する見通し

(単位:億円)

連結子会社	2009年度第3四半期		2010年度第3四半期				
	正味収入 保険料	当期純利益	正味収入保険料		当期純利益		
				増減		増減	
損保ジャパン	SJアメリカ	37	12	37	+0	6	△6
	SJヨーロッパ	17	△5	13	△3	△1	+4
	SJシンガポール	11	4	13	+2	4	+0
	テネット			7		1	
	SJ中国	15	△4	24	+8	△1	+3
	SJ香港			8		△0	
	南米安田	79	1	93	+14	2	+1
日本興亜損保	NKヨーロッパ	8	0	6	△1	0	△0
	NKアジア	6	1	5	△0	△0	△1
	NK中国	0	△0	1	+1	△0	△0

※当期純利益は連結修正前

# 純資産の状況

## 主要損保2社単体の純資産

(単位: 億円)

	損保ジャパン			日本興亜損保		
	2009年度末	2010年度 第3四半期末	増減	2009年度末	2010年度 第3四半期末	増減
純資産	8,201	7,672	△529	4,336	4,104	△231
(うち、その他有価証券評価差額)	3,863	3,317	△545	1,758	1,485	△272

## 修正連結純資産(参考・暫定値)

	NKSJ連結			
	2010年度期初		2010年度第3四半期末	
	金額(億円)	1株当たり(円)	金額(億円)	1株当たり(円)
①連結純資産 <sup>(※1)</sup>	12,447	749.27	11,628	700.32
(うち、その他有価証券評価差額)	3,893	234.37	3,155	190.05
②連結純資産(除く生保子会社純資産)	11,637	700.54	10,810	651.06
③異常危険準備金(税引後) <sup>(※2)</sup>	4,021	242.06	4,092	246.48
④価格変動準備金(税引後) <sup>(※2)</sup>	109	6.58	139	8.37
⑤生保子会社EV <sup>(※3)</sup>	3,868	232.83	3,868	232.95
⑥合計(修正連結純資産)(②+③+④+⑤)	19,636	1,182.02	18,910	1,138.87

※1: 新株予約権と少数株主持分を控除。

※2: 「税引後」は、各準備金残高から実効税率分を差し引いたもの。税引後の計算においては、損保ジャパン、日本興亜損保ともにそれぞれの単体の実効税率を用いている。

※3: 生保子会社EVは年1回の開示であるため、2010年3月末の数値を使用。

# 2010年度通期業績予想(NKSJ連結)

## 中間決算発表時予想を据え置き

(単位:億円)

	2010年度(年初予想)	2010年度(現時点予想)	増減
経常収益	26,420	26,250	△170
（正味収入保険料）	19,620	19,520	△100
（生命保険料）	1,820	2,060	+240
経常利益	480	480	-
当期純利益	250	250	-

1株当たり配当金	20円	20円	-円
----------	-----	-----	----

	経常利益	当期純利益
損保ジャパン連結	430	220
+		
日本興亜損保連結	220	130
+		
連結調整	△170	△100
=		
NKSJ連結	480	250

### <連結調整>

- ・NKSJホールディングスの設立にあたり、企業結合の会計処理として「パーチェス法」を適用している。左記「連結調整」の主なものは「パーチェス法」適用に伴う修正額。
- ・NKSJホールディングス連結では、日本興亜損保の資産・負債を経営統合時の時価で取得し、これを簿価としている。  
(日本興亜損保連結上の認識簿価とHD連結上の認識簿価が相違)従って、日本興亜損保連結上の売却損益等を修正する必要がある。

# 2010年度通期業績予想(主要損保2社単体)

中間決算発表時予想を据え置き

利益の前年度比プラス要因は、金融保証保険の利益計上と自然災害見込みの減少、  
マイナス要因は、自動車事故の増加と政策株式の売却益減少

(単位: 億円)

	損保ジャパン			日本興亜損保		
	2009年度 (実績)	2010年度 (予想)	増減	2009年度 (実績)	2010年度 (予想)	増減
正味収入保険料	12,588	12,650	+61	6,333	6,340	+6
(除く自賠責)	10,941	10,965	+23	5,591	5,594	+2
正味損害率	73.9%	70.8%	△3.1pt	69.4%	69.0%	△0.4pt
(除く金融保証・自賠責)	63.9%	63.5%	△0.4pt	65.0%	64.4%	△0.6pt
正味事業費率	34.1%	33.2%	△0.9pt	35.8%	35.6%	△0.2pt
(除く自賠責)	35.2%	34.4%	△0.8pt	37.3%	37.0%	△0.2pt
コンバインドレシオ	107.9%	104.0%	△3.9pt	105.2%	104.6%	△0.6pt
(除く金融保証・自賠責)	99.1%	98.0%	△1.1pt	102.2%	101.5%	△0.7pt
保険引受利益	△25	60	+85	22	△60	△82
資産運用粗利益	652	540	△112	312	320	+8
経常利益	503	470	△33	293	220	△73
当期純利益	427	270	△157	131	130	△1



# 2010年度通期業績予想(主要損保2社単体)

中間決算発表時予想を据え置き

## 正味収入保険料

(単位:億円)

	損保ジャパン			
	2009年度 (実績)	2010年度 (予想)	増減	増収率
火災	1,441	1,410	△31	△2.2%
海上	237	253	+15	+6.6%
傷害	1,252	1,286	+33	+2.7%
自動車	6,402	6,386	△16	△0.3%
自賠責	1,647	1,685	+37	+2.3%
その他	1,608	1,630	+21	+1.4%
(うち賠償責任)	997	1,030	+32	+3.3%
合計	12,588	12,650	+61	+0.5%
合計(除く自賠責)	10,941	10,965	+23	+0.2%

	日本興亜損保			
	2009年度 (実績)	2010年度 (予想)	増減	増収率
	965	965	△0	△0.1%
	134	141	+6	+4.6%
	506	513	+7	+1.4%
	3,187	3,155	△31	△1.0%
	741	745	+3	+0.5%
	797	819	+21	+2.7%
	402	417	+15	+3.9%
合計	6,333	6,340	+6	+0.1%
合計(除く自賠責)	5,591	5,594	+2	+0.1%

# 2010年度通期業績予想(主要損保2社単体)

中間決算発表時予想を据え置き

## 正味支払保険金・損害率

(単位:億円)

	損保ジャパン					
	正味支払保険金			正味損害率		
	2009年度 (実績)	2010年度 (予想)	増減	2009年度 (実績)	2010年度 (予想)	増減
火災	612	549	△63	44.2%	40.6%	△3.6pt
海上	132	128	△4	60.2%	54.9%	△5.3pt
傷害	681	686	+5	59.5%	58.2%	△1.3pt
自動車	4,058	3,923	△135	70.6%	71.7%	+1.1pt
自賠償	1,543	1,509	△34	101.3%	96.7%	△4.6pt
その他	1,521	1,215	△306	98.8%	78.6%	△20.2pt
（うち賠償責任）	526	518	△8	56.8%	54.3%	△2.5pt
合計	8,550	8,010	△540	73.9%	70.8%	△3.1pt
合計 (除く自賠償)	7,006	6,501	△505	69.7%	66.8%	△2.9pt
合計 (除く金融保証・自賠償)	6,368	6,148	△220	63.9%	63.5%	△0.4pt

	日本興亜損保					
	正味支払保険金			正味損害率		
	2009年度 (実績)	2010年度 (予想)	増減	2009年度 (実績)	2010年度 (予想)	増減
	426	382	△43	48.1%	43.4%	△4.6pt
	80	66	△13	61.0%	48.4%	△12.6pt
	308	308	+0	66.4%	65.1%	△1.3pt
	2,069	2,109	+40	71.0%	73.2%	+2.1pt
	707	715	+7	102.9%	103.3%	+0.4pt
	446	435	△10	61.1%	57.8%	△3.3pt
	212	214	+1	57.1%	55.3%	△1.8pt
	4,038	4,018	△20	69.4%	69.0%	△0.4pt
	3,330	3,303	△27	65.0%	64.4%	△0.6pt

# 中期事業計画の進捗 ～修正利益～

通期では、国内損保は前期並みの修正利益を確保する見込み  
他の事業も実質ほぼ前期並みを予想

(単位: 億円)

		2009年度 (実績)	2010年度 第3四半期(実績)	2010年度 (予想)	2014年度 (計画)
国内 損保 事業	正味収入保険料	18,922	14,250	18,990	19,500
	(除く自賠責)	16,533	12,428	16,559	17,200
	正味損害率	72.4%	70.3%	70.2%	65.4%
	(除く自賠責・金融保証)	64.3%	63.2%	63.8%	60.6%
	正味事業費率	34.6%	34.1%	34.0%	32.4%
	(除く自賠責)	35.9%	35.3%	35.3%	33.4%
国内 生保事業	コンバインドレシオ	107.0%	104.4%	104.2%	97.8%
	(除く自賠責・金融保証)	100.2%	98.5%	99.2%	94.0%
	修正利益	467	451	466	900
国内 生保事業	修正EV増加額	実質300弱 446		300	500
海外 保険事業	財務会計上の当期純利益	16	12	18	160
金融サービス 事業等	財務会計上の当期純利益	△30	△14	△30	40
修正連結利益		899		755	1,600
修正連結ROE		5.1%		3.9%	7%

将来予想に関する記述について

本書類には、NKSJホールディングス株式会社(以下「当社」)にかかる「将来予想に関する記述」に該当する情報が記載されています。本書類における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、かかる将来予想に関する記述に該当します。これら将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しています。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する記述に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。当社は、本書類の日付後において、本書類の将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。投資家の皆様におかれましては、今後の日本国内における公表および1934年米国証券取引法に基づく米国証券取引委員会への届出および提出において当社の行う開示をご参照ください。

なお、上記当社のリスク、不確実性およびその他の要因の例としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、当社の四半期報告書にも記載されていますのでご参照ください。

- (1) 日本の経済情勢悪化による影響
- (2) 損保事業の競争が激化するリスク
- (3) 法律、規制、制度等の変更による影響
- (4) 保険商品に関する自然災害リスク
- (5) 予測を超える損害の発生に伴うリスク
- (6) 再保険に関するリスク
- (7) 株価の下落による影響
- (8) 金利の変動による影響
- (9) 信用リスク
- (10) 為替の変動による影響
- (11) 流動性リスク
- (12) 生命保険事業に関するリスク
- (13) 海外事業に関するリスク
- (14) 関連事業に関するリスク
- (15) 格付の引き下げによる影響
- (16) 自然災害等の発生に伴う事業中断リスク
- (17) 情報漏えいに関するリスク
- (18) 風評リスク
- (19) システム統合リスク
- (20) 統合シナジーが十分に発揮されないリスク
- (21) 生命保険子会社の合併に関するリスク
- (22) その他のリスク

## IR関係連絡先

### NKSJ ホールディングス株式会社 経営企画部

電話番号	: 03-3349-3913
Fax	: 03-3349-6545
E-Mail	: shinichi.hara@nksj-hd.co.jp (原) takashi.izuhara@nksj-hd.co.jp (伊豆原) naoko5.takahashi@nksj-hd.co.jp (高橋)
Web	: <a href="http://www.nksj-hd.com/">http://www.nksj-hd.com/</a>